

スマートICの必要性と効果



【必要性】

●岐阜市では、

- ①富山市と『都市間交流協定』、『災害時の相互応援協定』を結ぶなど、他都市との連携推進を図る上で、アクセス性向上が必要である。
- ②岐阜市中央を清流長良川が流れ、豊かな自然を生かした観光資源が多く存在するが、観光客数は近年横ばいであり、より多くの集客が望まれている。

●三輪地域では、

- ①年間49万人の利用者のある『岐阜ファミリーパーク』では、さらなる利用者増を目指し、『岐阜ファミリーパーク再整備基本計画』を策定している。
また、岐阜ファミリーパークは災害時の広域活動拠点に位置付けられており、広域圏域からのアクセス性向上が必要である。
- ②産業創出や雇用創出のため『ものづくり産業等集積地整備事業』を計画しているが、企業誘致に有利な立地条件とするためには、高速道路へのアクセス性向上が不可欠である。
- ③歴史的な文化資源を生かした『三輪の歴史文化散策構想』を策定し、地域の活性化を目指している。
- ④岐阜ファミリーパークの再整備や、ものづくり産業等集積地の整備などにより、三輪地域への交流人口の増加が見込まれ、災害時や緊急時等の対応が求められる。

このような背景から、岐阜市の北端部に計画する岐阜三輪スマートICは、『岐阜市の北の玄関口』として、地域活性化につながる企業誘致の促進やこれに伴う雇用創出、防災機能強化、観光需要の促進など、多面的な効果が期待される。

【効果】

- 1 都市間連携の強化・創出や観光面の活性化
- 2 立地条件向上による「ものづくり産業等集積地」への企業誘致促進
- 3 高速道路と防災拠点の隣接による防災機能の向上
- 4 災害時や緊急時における救急搬送時間の短縮

